

Systemwalker Centric Manager 13.0



Systemwalker Service Quality Coordinator
プラグイン説明書

目次

第1章 概要	1
1.1 プラグインの役割	2
1.2 プラグインの動作	3
第2章 導入手順	4
2.1 インストール	5
2.2 環境構築	6
2.2.1 前提条件	6
2.2.2 ホスト名を合わせる方法	6
2.2.3 ユーザ名を合わせる方法	7
第3章 使用方法	8
3.1 統合コンソールを起動する	9
3.2 SQCのモニタ画面およびドリルダウン画面を起動する	10
付録A メッセージリファレンス/保守	12
A.1 [通知履歴]に表示されるメッセージ	12
A.2 保守情報の収集方法について	15

まえがき

本書の目的

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに追加インストールする、Systemwalker Service Quality Coordinator (以降 SSQC と表記) プラグインについて説明しています。

なお、本書は、Solaris/Linux/Windows版を対象としています。

本書の読者

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに、SSQC プラグインを追加インストールして利用する方を対象としています。

本書をお読みになる前に、“Systemwalker Centric Manager 解説書”、及び“Systemwalker Service Quality Coordinator ユーザーズガイド”をお読みになり、統合コンソールと SSQC の概要を理解しておくことが必要です。

略語表記について

Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise EditionおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003, Datacenter Editionを“Windows Server™ 2003”と略しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、Microsoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating systemを“Windows® 2000”と略しています。

Microsoft® Windows® XP ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® XP Home Editionを“Windows® XP”と略しています。

Solaris™ オペレーティングシステムを“Solaris”と略しています。

Solaris、Linux上で動作するSystemwalker Centric Managerを、“UNIX版Systemwalker Centric Manager”または“UNIX版”と略しています。

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。

商標について

MS-DOS、Microsoft、Windows、Windowsロゴ、Windows NTは、米国Microsoft

Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Netscape、Netscape Navigatorは、米国Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sunロゴ、Java (TM) およびすべてのJava (TM)に関連する商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標であり、同社のライセンスを受けて使用しています。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Solaris (TM) オペレーティングシステムおよびすべてのSolaris (TM) オペレーティングシステムに関連する商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標であり、同社のライセンスを受けて使用しています。

Oracleは、米国Oracle Corporationの登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat、RPM、および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

Intel、Pentium、およびItaniumは、Intel Corporationの登録商標です。

Systemwalkerは、富士通株式会社の登録商標です。

Interstageは、富士通株式会社の登録商標です。

Symfowareは、富士通株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載の会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

平成18年 4月

改版履歴
平成18年 4月 初 版

本書の構成

本書は、1章～3章および付録から構成されています。本書は、1章から3章を順にお読みください。付録は必要に応じてお読みください。

第1章 [概要](#)

SSQC プラグインの概要について説明します。

第2章 [導入手順](#)

SSQC プラグインの導入手順について説明します。

第3章 [使用方法](#)

SSQC プラグインの使用方法について説明します。

付録A [メッセージリファレンス/保守](#)

SSQC プラグインが出力するメッセージについて説明します。

本書の読み方

マニュアルの記号について

マニュアルでは以下の記号を使用しています。



注意

特に注意が必要な事項を説明しています。



ポイント

知っておくと便利な情報を説明しています。

第1章 概要

本章では、SSQC プラグインの概要を説明します。

1.1 プラグインの役割

SSQC プラグインは、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールから、SSQC のモニタ画面やドリルダウン画面を起動する為のプラグインです。

本プラグインを統合コンソールに追加インストールすることで、統合コンソールから、SSQC のモニタ画面やドリルダウン画面を起動する際に、構成管理で選択されているサーバの情報や、ログインされているユーザの情報を引き継いで起動することが出来ます。

1.2 プラグインの動作

SSQC プラグインをインストールすると、統合コンソールのランチャーに、「Systemwalker Service Quality Coordinator」-「Monitor」および「DrillDown」が追加され、統合コンソールから SSQC のモニタ画面やドリルダウン画面が起動できるようになります。

統合コンソールから起動されたモニタ画面およびドリルダウン画面は、Systemwalker Centric Managerで入力されたユーザ名を使用し、かつ、統合コンソールの管理構成で選択しているサーバが選択された状態で起動します。

第2章 導入手順

本章では、SSQC プラグインの導入手順について説明します。

2.1 インストール

以下の手順でSSQC プラグインをインストールします。

- 1 . Systemwalker技術情報ホームページのSystemwalker Centric Manager 統合コンソールプラグイン一覧から、SSQC プラグインをダウンロードします。
- 2 . SSQC プラグインに添付されている、適用手順書 (readme.txt) に従って適用します。

2.2 環境構築

SSQC プラグインでは、Systemwalker Centric Managerの、以下の二つの情報を引き継ぎ、モニタ画面やドリルダウン画面を起動します。

Systemwalker Celtric Manager	SSQC
構成管理で選択されている業務サーバのホスト名	SSQCのAgentのシステム名として使用
Systemwalker Centric Managerのログインユーザ名	SSQCのユーザ名として使用

そのため、これら二つの情報を、Systemwalker Centric ManagerとSSQCで合わせておく必要があります。

2.2.1 前提条件

Systemwalker Celtric Managerの業務サーバに、SSQCのAgentがインストールされている必要があります。

2.2.2 ホスト名を合わせる方法

SSQCのAgentで認識するシステム名は、収集ポリシーの適用コマンド (sqcSetPolicy) 実行時に検出したホスト名がデフォルトで使用されます。適用コマンドの詳細については、SSQCに付属するユーザズガイドの「第16章 収集ポリシーの作成と適用」を参照してください。

既にポリシー適用されたAgentのシステム名は、SSQCの定義画面上で確認することができます。

まだシステムグループに登録していないAgentの場合は、定義画面のツリーの「UnregisterdAgents」配下に表示された名前を確認できます。

既にシステムグループに登録してあるAgentの場合は、「Agent情報」画面で確認することができます。

ユーザズガイドの「9.2.3.2 未登録Agent情報(UnregisteredAgents)」または「9.2.3.1.3 Agents」を参照してください。

ポリシー適用コマンドで認識されたホスト名(システム名)が、Systemwalker Centric Managerの管理する業務サーバのホスト名と合っていない場合、sqcSetPoilcyコマンドの -h オプションで、明示的に指定することができます。ただし、-h オプションにはドメイン名などを含んだ FQDN 形式のホスト名

は指定しないでください。Systemwalker Centric Managreでホスト名が FQDN で管理されている場合、SSQCは先頭のホスト名のみでマッチングを行います。

2.2.3 ユーザ名を合わせる方法

SSQCの管理コンソール画面で、Systemwalker Centric Managerのログインユーザ名を登録します。

以下の手順を行ってください。

1. Systemwalker Centric Managerのログインユーザ名を、SSQCの「管理コンソール」 - 「ユーザ定義画面」の「新規登録」ボタンで登録します。ユーザ定義画面の操作方法は、SSQC ユーザーズガイドの「9.3 ユーザ定義」を参照してください。
2. 「ユーザ定義画面」の「コンソール定義割当」ボタンで、Systemwalker Centric Managerの業務サーバが登録されているコンソール定義をユーザに割り当てます。
3. 「ユーザ定義画面」の「HTML生成」ボタンで、ユーザの起動HTMLの生成を行います。

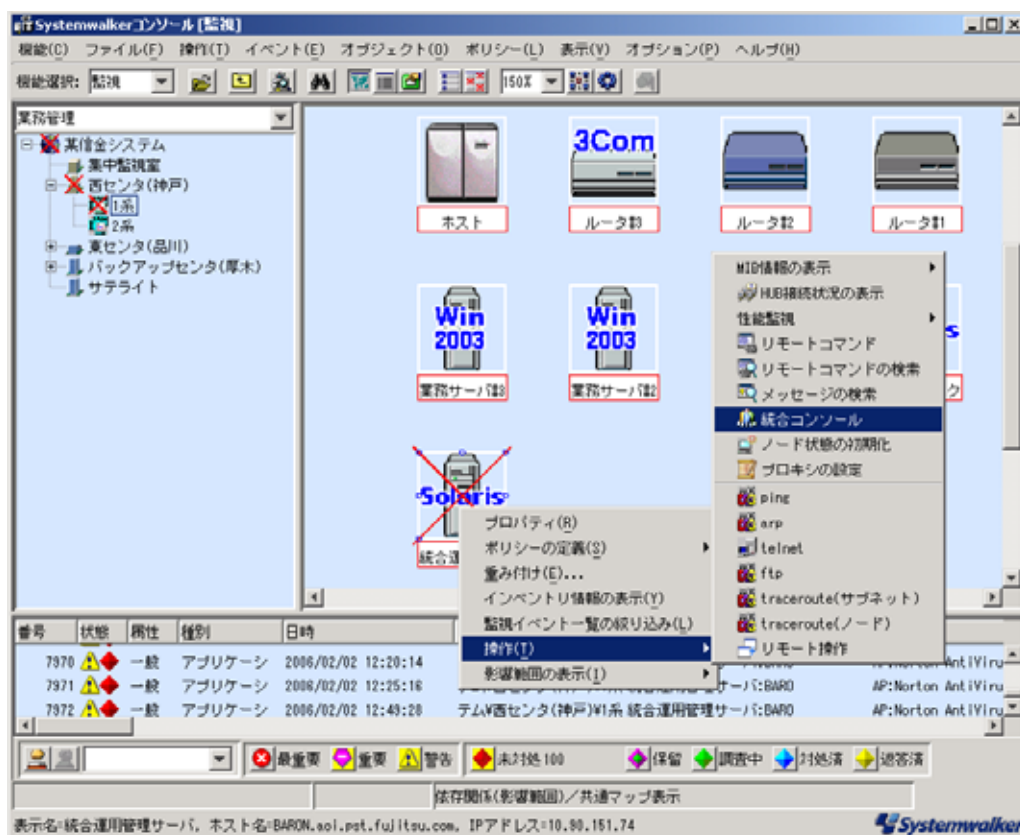
第3章 使用方法

本章では、統合コンソールから、SSQC のモニタ画面およびドリルダウン画面を起動する手順について説明します。

3.1 統合コンソールを起動する

以下の手順で統合コンソールを起動します。

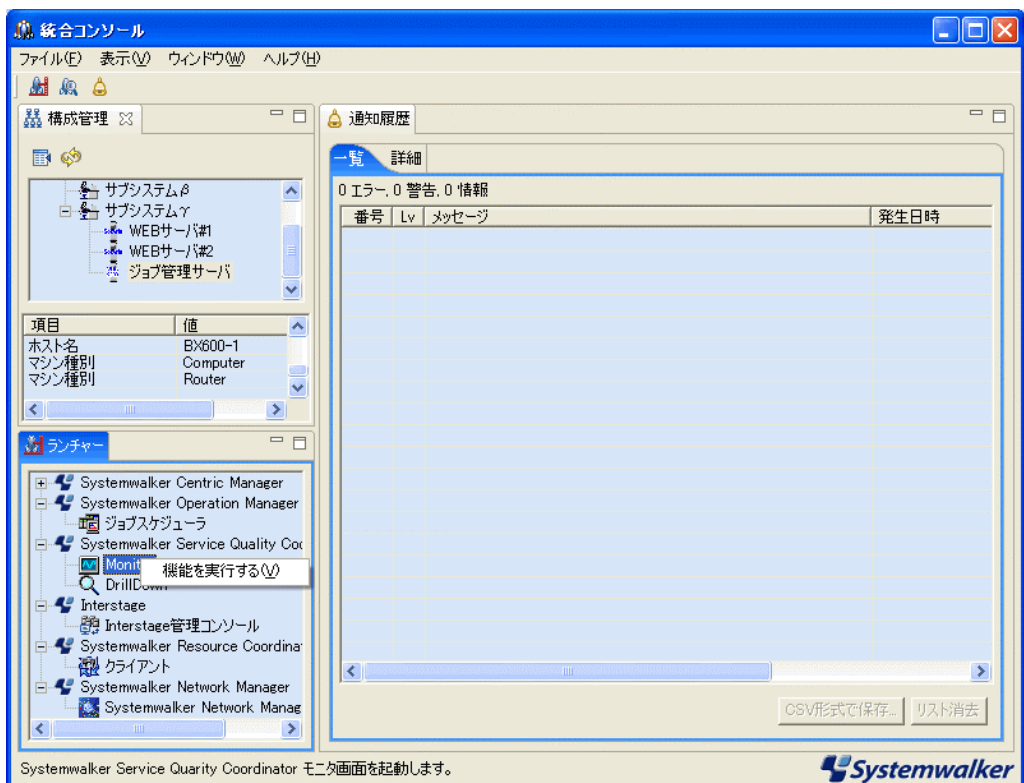
1. Systemwalker Centric Managerの「Systemwalker コンソール」を起動します。
2. 管理構成ツリーで、SSQC のモニタ画面またはドリルダウン画面で表示を行いたいサーバを選択します。
3. 右クリックで表示されるポップアップメニューから、「操作」 - 「統合コンソール」、またはメニューから「操作」 - 「指定オブジェクト」 - 「統合コンソール」を実行し、統合コンソールを起動します。



3.2 SQCのモニタ画面およびドリルダウン画面を起動する

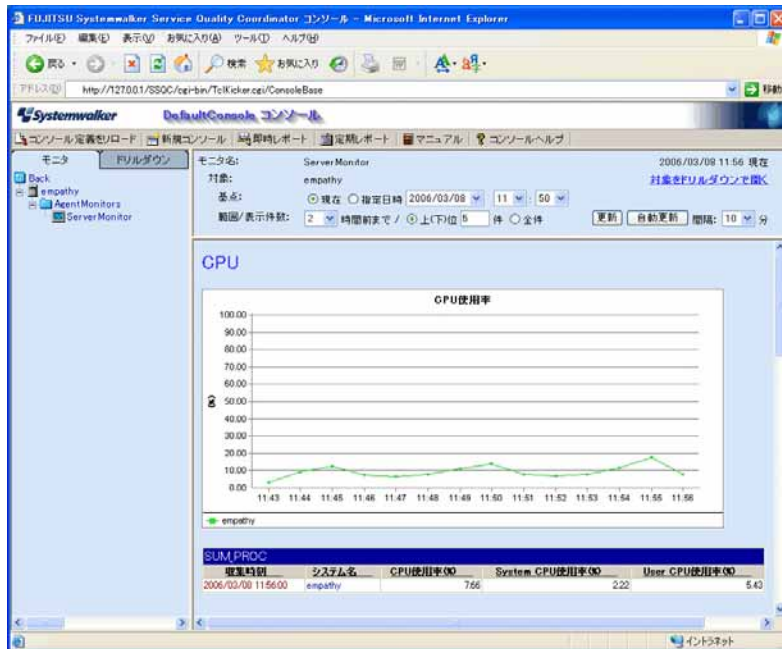
以下の手順で、SSQC のモニタ画面およびドリルダウン画面を起動します。

1. 統合コンソールの構成管理画面で、モニタ画面およびドリルダウン画面を表示したいサーバが選択されているか確認します。表示したいサーバが選択されていない場合には、構成管理画面のツリーで、表示したいサーバを選択します。
2. 統合コンソールのランチャーから、「Systemwalker Service Quality Coordinator」 - 「Monitor」または「DrillDown」を選択し、右クリックで表示されるポップアップメニューから「機能を実行する」を実行し、SSQC のモニタ画面またはドリルダウン画面を起動します。

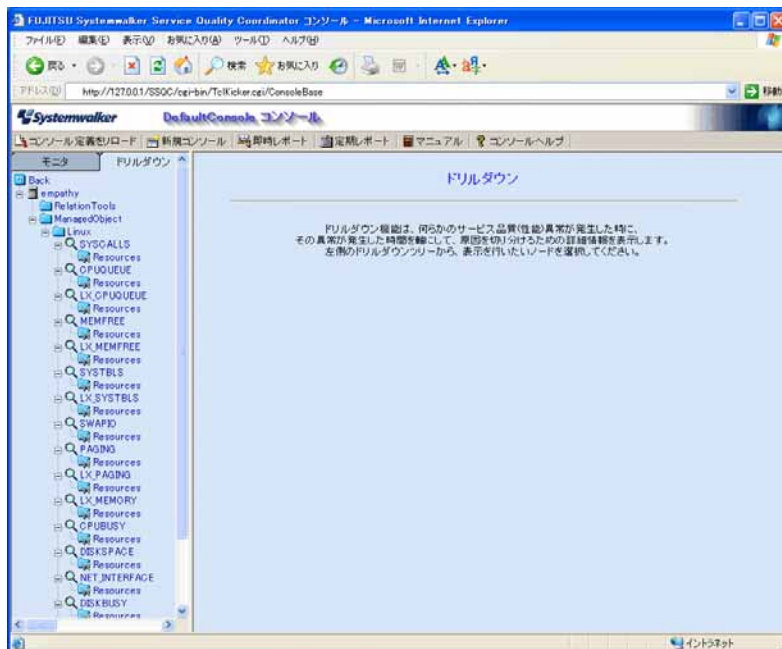


3.2 SSCのモニタ画面およびドリルダウン画面を起動する

「Monitor」を選択した場合に起動されるモニタ画面は以下になります。



「DrillDown」を選択した場合に起動されるドリルダウン画面は以下になります。



起動された各画面の操作については、SSQCユーザズガイドを参照してください。

付録A メッセージリファレンス / 保守

A.1 [通知履歴]に表示されるメッセージ

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

プラグインの初期化に失敗しました。

【メッセージの意味】

Systemwalker Service Quality Coordinatorプラグインの初期化時に異常が発生しました。

【パラメタの意味】

なし。

【システムの処理】

Systemwalker Service Quality Coordinatorプラグインの表示処理を中止します。

【対処方法】

[対処]

詳細メッセージを控えて、技術員に連絡してください。

【原因】

統合コンソール環境が壊れているなどで、予期せぬエラーが発生しています。

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

Monitor画面の起動に失敗しました。

【メッセージの意味】

Systemwalker Service Quality CoordinatorのMonitor画面の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

Monitor画面の起動処理を中断します。

【対処方法】

詳細メッセージテキスト

運用管理クライアントのホスト名の取得に失敗しました。

【確認ポイント】

適用手引書で説明するプラグイン定義ファイルの内容を確認してください。

【対処】

プラグイン定義ファイルのホスト名の設定に間違いがあった場合、正しく修正してください。

詳細メッセージテキスト

運用管理クライアントのポート番号の取得に失敗しました。

【確認ポイント】

適用手引書で説明するプラグイン定義ファイルの内容を確認してください。

【対処】

プラグイン定義ファイルのポート番号の設定に間違いがあった場合、正しく修正してください。

詳細メッセージテキスト

ログインユーザ名の取得に失敗しました。

【確認ポイント】

Systemwalker Centric Managerで正しくログインされているか確認してください。

【対処】

正しくログインされていない場合、正しくログインし直してください。

【原因】

Systemwalker Service Quality Coordinatorプラグイン定義ファイルに問題があるか、Systemwalker Centric Managerでユーザが正しくログインされていない可能性があります。

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

DrillDown画面の起動に失敗しました。

【メッセージの意味】

Systemwalker Service Quality CoordinatorのDrillDown画面の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

なし

【システムの処理】

DrillDown画面の起動処理を中断します。

【対処方法】

詳細メッセージテキスト

運用管理クライアントのホスト名の取得に失敗しました。

[確認ポイント]

適用手引書で説明するプラグイン定義ファイルの内容を確認してください。

[対処]

プラグイン定義ファイルのホスト名の設定に間違いがあった場合、正しく修正してください。

詳細メッセージテキスト

運用管理クライアントのポート番号の取得に失敗しました。

[確認ポイント]

適用手引書で説明するプラグイン定義ファイルの内容を確認してください。

[対処]

プラグイン定義ファイルのポート番号の設定に間違いがあっ

た場合、正しく修正してください。

詳細メッセージテキスト

ログインユーザ名の取得に失敗しました。

【確認ポイント】

Systemwalker Centric Managerで正しくログインされているか確認してください。

【対処】

正しくログインされていない場合、正しくログインし直してください。

【原因】

Systemwalker Service Quality Coordinatorプラグイン定義ファイルに問題があるか、Systemwalker Centric Managerでユーザが正しくログインされていない可能性があります。

A.2 保守情報の収集方法について

本プラグイン、及び統合コンソールの機能で発生したトラブルに対し、原因がわからない場合には、Systemwalker Centric Managerの「保守情報収集ツール」を使用して、収集した情報を技術員に送付してください。

「保守情報収集ツール」の使用方法については、Systemwalker Centric Managerの「メッセージ説明書」に記載されている、「保守情報の収集方法」を参照してください。